

第 16 回日本ホスピス・在宅ケア研究会全国大会 in 千葉
- 地域コミュニティの場でホスピスケアを -

http://www.npo-pure.npo-jp.net/leafret_other/chibachirasi1.pdf

日時：平成 20 年 7 月 12 日（土） 7 月 13 日（日） 9：00～17：00

会場：幕張メッセ国際会議 千葉市美浜区中瀬 2-1 043-296-0001

名誉大会長 堂本暁子（千葉県知事）

大会長 藤田敦子 副大会長 浮谷勝郎 実行委員長 渡辺敏

プログラム

7 月 12 日

講演

山崎章郎（ケアタウン小平クリニック院長）「ホスピスケアからコミュニティケアへ」

川越厚（ホームケアクリニック川越院長）× 柳田邦男（ノンフィクション作家）

「在宅ホスピスケアの 20 年を振り返って」

品川博二（日本ケア・カウンセリング協会）「死別から共存への心理学」

下山直人（国立がんセンター中央病院）

「基幹病院と地域医療の連携についての取り組み - がん難民を作らないために - 」

中山康子（在宅緩和ケア支援センター虹）「地域で生き抜くという道を創る」

近藤克則（日本福祉大学）

「在宅エンド・ライフ・ケアの課題 - 全国調査とイギリスでの取り組みを踏まえて」

広井良典（千葉大学）「これからのケア・社会保障・日本社会と死生観」

シンポジウム

「小児在宅緩和医療」前田浩利ほか「認知症の方の緩和ケア」苛原実、菅原由美ほか

「風の楽器オルガンの調べにのせて・・・」アロマセラピートリートメントを学ぶ」

「在宅ホスピスケア実践シンポ - 最期の 10 日間！どう支えるか？」

スピリチュアルケア部会「死にゆく人との会話」など

7 月 13 日

講演

中川恵一（東大病院緩和ケア診療部長）「命と向き合う—日本人とがんと緩和ケア」

小澤竹俊（めぐみ在宅クリニック）「いのちの授業 - 苦しんでいる人の前で私たちができること」

シンポジウム

「新たな局面を迎えた緩和ケア - 住み慣れた家での最期は可能か」

司会 宮武剛（目白大学） 基調講演 宮島俊彦（厚生労働省）

パネリスト 俵萌子、江口研二、大島伸一、角田直枝、川島孝一郎

「もうひとつの我が家～施設でのターミナルケアを考える～」

司会 大熊由紀子（国際医療福祉大学大学院教授） 基調講演 本間郁子

「普通の暮らし、普通の生き方、普通の死」

伊藤英樹（井戸端げんき） 伊藤真美（花の谷クリニック） 安西順子、野沢和弘ほか

「在宅緩和ケアの推進に関する千葉の取組」

そのほか、

昼の教育セミナー、一般演題、看護部会、介護福祉部会、患者会部会
自死遺族ケア部会、子ども共育部会、市民部会、グリーフケア部会など

参加費 一般 事前（2日）5000円、当日（2日）6000円、一日参加 3000円

学生 2000円、高校生以下 1000円

懇親会 7月12日（土）18：00～20：30 6000円

申込方法 大会URL <http://www.npo-pure.npo-jp.net/chibataikai.html> よりお申込み
ください。

* インターネット不可の方は、千葉大会事務局へ

申込期間 事前参加申込（6月10日締切）

問合せ先 千葉大会実行委員会事務局 担当：野添（のぞえ）

〒272-0035 市川市新田 1-16-17（医）恵隆会内

TEL 047-326-9622 FAX 047-326-2234 E-mail info@chiba2008.com